

【あいこ】勝ちも負けもない同等な関係を表す言葉。
“あいこ”は、この分かち合いの精神で、障がいのある人
ない人にかかわらずお役に立つ情報を発信していきます。

感じてますか？ 伝えたい気持ち



ビッグ・アイ サポーターから生まれた手話サークル「ビッグ・アイ しゅわへズ」。3月2日に志茂田景樹さんの絵本読み聞かせに手話を加えたコラボ企画を開催しました。

ビッグ・アイ サポーター、 はじめてのチャレンジ！

芸術や文化事業、セミナーなどさまざまなイベント・講座を開催しているビッグ・アイ。催しもの際には必ず、背中にカラフルなアート作品をプリントした黒いジャンパーを身につけた人々が動き回っていること、お気づきでしたか？ 彼らは、その名も“ビッグ・アイ サポーター”。イベント・講座の当日スタッフとして、受付や会場整理、来場者の誘導、利用者とのコミュニケーションなどを行っています。

これまでは縁の下の力持ちとして、ビッグ・アイと利用する人々をサポートしてきましたが、今回自らが主体となって、イベントの企画立案から当日の運営までに挑戦することに。記念すべき第1回目は、サポーターから生まれた手話サークル

「ビッグ・アイ しゅわへズ」が、よい子に読み聞かせ隊 隊長として全国を行脚する志茂田景樹さんを招いてのコラボイベントを企画・開催しました。



会場設営をするサポーターたち

軽い気持ちで始めたサポーターだけど、 今日のステージを第一歩にしたい

現在、ビッグ・アイ サポーターは57名。「仕事を退職後、社会に貢献したいと思いました」「看護助手の技術が活かせるのではないかと思います」「登録制だから、自分の都合で活動しやすいのにひかれました」などきっかけは様々ですが、サポーターとして活動する中で、「新たな人間関係を作れた」「家よりも居心地がいい」「利用者から、『また来るわ』と言われるのが励み」と新たなやりがいを見出しています。

『言葉と手で語る志茂田隊長 えほんよみきかせ』を企画・運営した「しゅわへズ」もビッグ・アイ サポーターとして、活動するメンバー。50～70代の8名、指導者1名、職員1名で結成されました。最年長の井出春子さんは、ビッグ・アイのオープン以来、イベント会場の受付や聴覚障がい者への手話通訳などを行っています。「ここで行われるイベントに自分も関わることで、イベントを身近に感じられる。想像以上に楽しいですよ」と目を輝かせながら教えてくれました。

(2面へ続く→)

今回のコラボ企画でも率先してメンバーを引っ張ったという井出さん。「手話を使って何かしたいなあという気持ちは持っていたから、イベントをしよう!となった時は燃えましたよ。でも、まさか、自分たちが企画から当日の段取りまで全部やることになるなんて!もう、始めは大変やった」と笑います。サポーター歴が浅い本庄多美恵さんは、「私は、ちょっと不安でした。メンバーには、手話歴の長いベテランも



いれば、中堅も。私は手話が上手というわけではないので、できるかなあ〜という気持ちが強かったです」と不安だった胸中を明かしてくれました。でも、井出

さんの「手話を学ぶだけではなく、手話を使った表現というものに取り組みたい」という気持ちには、とても共感したそうです。企画が本格的に動き出したのは今年に入ってから。週2回の全体練習に加え、家でも時間を見つけては個人練習に励みました。それは、他のメンバーも同じ。個人練習の成果を全体練習で披露し、お互いにダメ出しをしたり、どうしたらいいかを考えたり、少しずつ、形にしていっていったそうです。

開演前は緊張していたメンバーですが、読み聞かせが始まると、いつの間にか柔らかな表情に。観客との一体感も生まれました。「本番前、志茂田隊長から、上手にやるのではなく、気持ちを伝えよう、

と言われたことで、気持ちが楽になりました。そうだ、自分たちが楽しめば伝わるんだって」と本庄さん。「会話手話と、大勢に伝える手話は全然違うと改めて感じました。伝えたい気持ちは一緒でも、表現法が違いますね。どちらも楽しいけど、このイベントで新しい楽しさを見つけた感じ。体をいっぱい使うのが面白かった」と井出さん。ステージに立つメンバーたちの動きには、いつもの練習よりもリラックスして表現できている印象を受けたと言います。当初予定していた『ひかりの二じゅうまる』に加え、『ぞうのこどもがみたゆめ』の読み聞かせも行いましたが、メンバー全員、動揺することなく対応。初イベントとは思えないほど堂々としたパフォーマンスに、メンバーも「次は何をやる?」「1回で終わるのはもったいない気持ち」「ひとりひとりの課題はあるけど、今日は大満足」と笑顔。「自分の可能性を広げられるし、いろんな人と知り合いたい、と始めたサポーターですが、こんな貴重な経験をできるなんて思ってもいませんでした。自分でも役に立つと思えたのがうれしいし、新しいことをまだまだできる、諦めたらあかんと教えられました」という力強い言葉が印象的でした。



取材に応える「しゅわ〜ズ」の本庄さん(左)、井出さん(右)

ビッグ・アイ サポーターについてのお問い合わせは

ビッグ・アイ「サポーター」係

TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール supporter@big-i.jp

志茂田 景樹さんインタビュー

伝えようという感情を 届けることがいちばん大切

最近の手話は、すごく表情豊かですよね。手も動かすけど、目や口、体全体で伝えているなあ。僕は、聴覚障がい者の方って、まず表情、目、口、そして最後に手もとをよ〜く見てるんじゃないかなと思うんです。相手が伝えたいことを、全体を見て、読み取ろうとしているんじゃないかって。だから、ちょっとくらい、手話を間違えたっていいじゃないって思います。失敗を気にして、手もとに集中しすぎたら、肩に力が入って、何も伝わらないですよ。肩の力を抜くってのが大事なんじゃないですか。だって、本当に伝えたいことは心や感情でしょ。自然な状態で、自分が感じたことを伝えよう、とするのがいちばん大切。伝えたいという気持ちと行動が、人間の感動を最も奮い起こすものだと思います。「しゅわ〜ズ」の皆さんは、自分たちの持っているもの、感じているものを伝えたいと思っている人たちだなという印象があります。もちろん、メンバーひとりひとりで伝えたい思いは異なるでしょうが、伝えたいという純粋で真摯な気持ちはみんな一緒だなと感じましたね。

僕が行っている絵本の読み聞かせは1998年からスタートして、既に1,600回を超えました。「読み聞かせをしても、全然子どもたちが聞いてくれないんです!聞かせるコツってありますか?」と質問されることもよくあります。でも、コツってない。僕は、子どもに読んであげよう、という気持ちではなく、子どもと一緒に絵本の世界に入りたいてい思いながら、読んでますよ。実は、『読み聞かせ』という言葉は好きじゃないんです。なんだか、“やってあげる”という気持ちを感じるでしょう、上から目線だなあって。もちろん、

はじめは、読んであげようという上から目線があるかもしれません。でも、やり続けるうちに、自分も一緒に楽しむ気持ちになっていくし、そこから学ぶこともあるんです、きっと。そうやって、続けていくうちに、その人しか出せない持ち味が出てくるんですよ。だから、継続することがいちばんのコツ。その人しかできない味のある読み聞かせって、続けることで見いだせるんじゃないでしょうか。ボランティアも、最初は、助けてあげよう、助けてあげる自分がかっこいいというヨコシマな気持ちがあるかもしれない。でも、僕はそれでもいいと思う。やっていくと、ボランティアをやるってことの本当の意味がわかってくると思うんですよ。

障がい児への読み聞かせは聴覚障がいの全国組織の地方大会や知的障がい児だけの保育園などいろいろなところで経験していますが、いつも自然なやりゆき。そういう機会って自然に訪れるものだから、今回の「しゅわ〜ズ」とのコラボも僕の中では自然なんです。だから、今後も意識することなく、自然に、そういう機会が増えていくのがいいんじゃないかな。僕だけじゃなくて、これから、そういう意識が日本の人々全体に芽生えていくといいのに、と期待しています。自然な機会がどんどん増えた時こそ、日本の土壤に、障がい者に対する本当の意味での愛が根付く時。まだまだのようですけどね、そうならば、素晴らしいんじゃないかなと思っています。(談)

志茂田 景樹 (しもだ かげぎ)

絵本作家・児童書作家・小説作家・
よい子に読み聞かせ隊 隊長

ツイート名言集

「人って、みな最初は石ころなもの」
ポプラ社より好評発売中。

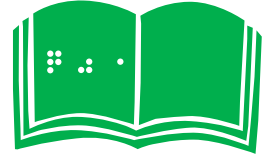


見て・聞いて・さわって たのしさとどける絵本の世界 世界のバリアフリー絵本展

日時: 2013年4月13日(土)~21日(日) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所: ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)バリアフリープラザ

入場無料



耳が聞こえない子どもたちの母語である「手話」がついた絵本。

活字だけでは読むのが困難な子どもたちを助ける「絵文字」がついた絵本。

目が見えない・見えにくい子どもでもさわってたのしめる「さわる絵本」や「点字絵本」。

世界には、さまざまなバリアを超えて、たくさん子どもたちにたのしさを届ける絵本があります。

この展示会では、世界18カ国から集められた「バリアフリー絵本」のコレクションを紹介します。

たのしさと、やさしさにあふれた絵本の世界に、あなたもふれてみませんか？

企画：国際児童図書評議会 (IBBY) 障害児図書資料センター
日本国際児童図書評議会 (JBBY) 世界のバリアフリー絵本展実行委員会

お問合わせ ビッグ・アイ「絵本展」係
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL072-290-0962 FAX072-290-0972
E-mail ehon@big-i.jp

当展示会の開催にあたり、堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センターのご協力をいただきました。

堺市立健康福祉プラザは、障がい者の方々の社会参加、地域生活を支援するとともに、障がい者と市民の方々が交流を通じて相互理解を図ることを目的とした、広域的で総合的な拠点施設です。視覚・聴覚障害者センターでは、視覚・聴覚に障がいのある方への情報提供や相談などを行っています。

堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター
〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1
TEL072-275-5024 <http://www.sakai-kfp.info/>



2013 EVENT CALENDAR

4 April

13 13:30~15:00

ハートフルコンサート

【土】橋本三千代&加藤英雄「音楽の花咲くピアノ×ピアノ」

多 イベント 有料 定 1200名

問：フロント TEL 072-290-0900

29 14:00~16:00

【月・祝】「市民協働って？まちづくりって？どうするの？」

～ボランティアとは志願することです～

研 講座 無料 要申込

問：サポーター係 TEL 072-290-0962

6 June

21 14:00~18:00

【金】「気づきや問題解決を促す

ファシリテーションを学んでみよう！」

研 セミナー 有料 要申込 定 40名

問：愛カフェ係 TEL 072-290-0962

30 14:00~16:00

【日】「最強のふたり」

多 イベント 無料 要申込 定 1200名

問：シネマ係 TEL 072-290-0962

イベント・アイコン表示について

多 … 多目的ホール 他 … その他 無料 …… 参加費無料
研 … 研修室 定 … 定員数 有料 …… 参加費有料
バ … バリアフリープラザ 要申込 …… 予約が必要

ヒ … ビッグバン 【別途入館料が必要】

講演会 … 講演会 情報保障 手点 副他 … 手話通訳
セミナー … セミナー 情報保障 手点 副他 … 点字プログラム
講座 … 講座 情報保障 手点 副他 … 副音声・状況放送
イベント … イベント 情報保障 手点 副他 … その他サービス

各イベント等は開催予定です。事前にご確認ください。



ケアフード・レシピ

鯖のムニエル

ケアフードとは、固いものを食べることがむずかしい方むけの流動食を表す造語です。



写真はイメージです。

材 料 (1人前)

注：分量は、調理をする上で最低限必要な量です。

● 鯖	60g	● キャベツ	40g
● 小麦粉	適量 (魚にまぶす程度)	● 青じそドレッシング	10g~15g
● バター	5g	● トマト	40g
● 塩コショウ	少々	● ゼリー化凝固剤	各分量の1%程度

作り方

1. 鯖は塩コショウして小麦粉をまぶす。
2. 熱したフライパンにバターを入れて溶かしてから鯖の両面を焼く。そのまま蓋をして蒸し焼きにするか、レンジ等で加熱する。
3. キャベツは茹でたら水分を絞り、青じそドレッシングで和える。
4. トマトを湯むきする。
5. (2)を30ccの水(材料に対して50%の水分量)でなめらかになるまでミキサーで攪拌(かくはん)し、鍋に入れます。凝固剤を加えて80℃以上に加熱し、魚型などに流して冷やし固める。(3)。(4)も同様の手順で固める。
6. 型から抜いて好みの大きさにカットし皿に盛りつける。

チェックポイント

- ☆ 嚥下(えんげ)障がい(咀嚼(そしゃく)困難含む)がある場合、食材を口腔内で咀嚼し、食塊形成が出来ず誤嚥(ごえん)があるため、普通食をミキサーにし、それを固める事で飲み込みやすくしています。たれやソースをはちみつ程度の硬さに片栗粉などで濃度を付けたものを全体的にまわしかけるとより一層食べやすくなります。
- ☆ 凝固剤は材料に対して1%程度が適量で、舌でつぶせる柔らかさになります。(材料は攪拌+凝固剤の加熱で多少目減りするのでやや多めの分量での調理が良いです)
- ☆ 凝固剤は65℃以上から溶け出すので温める場合は60℃までを目安にとどめる事。

レシピ提供：フジ産業株式会社 関西営業所 075-595-1701



私と絵本



2013年2月、偕成社・こぐま社・小学館の3社から、「てんじつき さわるえほん」が3冊同時発売という、うれしいニュースが届きました。

私は本を読むのが大好きな子どもでしたが、小学校2年生の夏に目が見えなくなったことで、本は遠い存在となってしまいました。そんな私が「読書のバリアフリー」をライフワークとして、点字図書館の職員として勤めていることを不思議に思われるかもしれません。本と私をつないでくれたのは、母親でした。今でも耳を澄ませば、苦しい家計をやりくりして、毎晩読み聞かせしてくれていた母の声が聞こえてきます。

私は、4人の子どもの父として、そして、現在は8人の孫の祖父として、目が見えなくても読めるバリアフリー絵本がたくさんあれば、もっと読み聞かせをしてやるのにと、やしい思いをしてきました。子育て中の目が見えない・見えにくいお母さん・お父さんも、目が見えない子どもを持つ両親も、同じ気持ちだと思います。

2002年（平成14）年、大阪・枚方市にある株式会社アスクの長倉

貞雄オーナーが、私の「『情報はいのち』、目の見えない親は子どもに絵本を読んでやれないことがさびしい」などの話を聞いて、「バリアフリー絵本」の出版を決断してくださいました。

『ニングルと歩く森 ふらのの風になって』は、北海道の富良野を拠点に活躍中の丹沢裕子さんの筆となるものです。『木の根橋』は、文が藤田富美恵さん、絵を河村立司さんのコンビで、2004（平成16）年にアスクから出版されました。絵本のページと点字のページが見開きで、絵と文字と点字と一緒に、子どもの目にふれるように作られています。子どもの目は、点字を読むお母さんの指先に、しっかりと注目します。

『木の根橋』の推薦文として次のような拙文を添えました。「私にとっての絵本は、母親の声とともにある。小さな商売と家事に疲れたその声は、うつろになることもしばしばだ。私が失明してからは、ときどき涙声となりながらも毎日日本を読んでくれた、その声のぬくもりを忘れない。『木の根橋』には、点字とすばらしい点字の絵がついた。目の見えないお母さんが毎晩わが子に読んであげるその声は、ずっとずっと子どもの記憶に残るであろう。点字をなぞるお母さんの指先の残像とともに…」

誰もが読みたい媒体で読書ができる、そんな社会に早くなってほしいものです。



岩井 和彦（いわい かずひこ）

堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター 所長

1949（昭和24）年、奈良県に生まれる。SJSにより8歳で失明。大阪府立盲学校を経て、同志社大学文学部卒業。母校である大阪府立盲学校高等部常勤講師を経て、日本ライトハウス点字出版所で6年間、奈良県盲人福祉センターで12年間、日本ライトハウス点字情報技術センター所長、情報文化センター館長、常務理事として16年間勤務のち、2012（平成24）年より現職。前全国視覚障害者情報提供施設協会理事長。

ビッグ・アイメイトカードの掲示で ハーベストの丘をはじめ 全国12の施設がお得に ご利用いただけます。

実施期間 3月1日（金）▶ 11月30日（土）

実施内容 各施設で設定された優待割引料金にてご利用いただけます。

（例）ハーベストの丘 入場料

大人 900円 → 700円 / 小人 500円 → 400円

※障がいのある方については、統一の障がい者割引料金が適用されます。

各施設の詳細については、（株）ファームのホームページをごらんください。 URL <http://www.farm-info.jp/>



対象施設

- （株）ファームが運営する12の施設
- ★ 衣川悠久ファーム東北 ニュージャーランド村（岩手県）
 - ★ 江戸崎農業公園 ボティロンの森（茨城県）
 - ★ 赤城クローネンベルク（群馬県）
 - ★ 長井海の手公園 ソレイユの丘（神奈川県）
 - ★ 信州塩尻農業公園 チロルの森（長野県）
 - ★ 平成記念公園日本昭和村（岐阜県）
 - ★ 奥飛騨平湯大滝公園（岐阜県）
 - ★ 美濃加茂サーブスエリア（岐阜県）
 - ★ 堺・緑のミュージアム ハーベストの丘（大阪府）
 - ★ 京都府農業公園 丹後あじわいの郷（京都府）
 - ★ 滋賀農業公園 ブルメの丘（滋賀県）
 - ★ 岡山農業公園ドイツの森 クローネンベルク（岡山県）

ビッグ・アイメイト会員募集中!

ビッグ・アイのホテル・レストランをはじめ、ビッグバンや周辺ショップの割引など、さらにお得に、もっと便利に、ご利用いただけます!

**ホテル・レストランが
通常料金より
10%OFF**

**情報紙
「i-co(あいこ)」を
毎号お届け**

**入会費
年会費
不要**



ビッグ・アイメイト限定割引!

ビッグ・アイのおとなり「大阪府立大型児童館ビッグバン」 入場料20%OFF

ビッグバンの受付でメイトカードを提示すると、入場料2割引きでご利用いただけます。

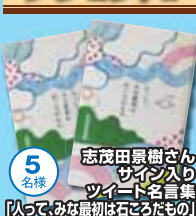
泉ヶ丘南専門店街の「ボム・ド・テール 泉ヶ丘店」

2013年3月～8月の半年間、メイトカードの提示で飲食10%OFF。

お問合わせ ビッグ・アイ「ビッグ・アイメイト」係 TEL 072-290-0900



クイズで プレゼント!!



5名様
志茂田景樹さん
サイン入り
ツィート名義集
1つて、みな最初は石とるもの!

クイズ 志茂田景樹さんといほんよみきかせ会を共催したサークルの名前は? 『ビッグ・アイ○○○〜ズ』

**応募
方法**

郵便はがき、ファックス、電子メールのいずれかに、お名前（ふりがな）、ご住所（郵便番号をお忘れなく）、電話番号、本紙へのご感想やご希望、ご質問などをご記入いただき、ご応募ください。正解者の中から抽選で5名様に景品を発送させていただきます。※読者のみなさまからいただいたご意見を「i-co」紙面でご紹介する場合があります。予めご了承ください。

**応募
期間**

2013年4月30日（火）消印有効
※ファックス、電子メールは4月30日午後11時59分送信分まで有効。

**お申
込先**

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
国際障害者交流センター「i-coプレゼント」係
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール i-co@big-i.jp

ビッグ・アイの 第6回 ビッグ・アイ 探検ノート



編集 後記

読み聞かせに手話、絵文字、点字、さわる絵本。物語を伝えたい。そんな思いから生まれたさまざまな伝達方法。ちょっとしたしぐさや声、触感にもそれぞれの表情があって、それはそれは情感豊かな世界をかたちづくれます。ぜひ体験してみてください。

■個人情報の取り扱いについて

お預かりした読者のみなさまの個人情報につきましては、ビッグ・アイ共催機構が厳重に管理し、本紙の運営・実施の目的に利用させていただき、目的外での利用はいたしません。また、お預かりした個人情報、読者のみなさまの同意なしに、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ただし法令等により開示を求められた場合を除きます。



ビッグ・アイ
国際障害者交流センター
International
Communication Center
for Persons with Disabilities

発行・編集:

国際障害者交流センター ビッグ・アイ i-co編集事務局

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972

<http://www.big-i.jp/>

発行日: 2013年3月31日

